

令和7年度 学校評価 自己評価及び学校関係者評価

学校名	坂戸市立桜中学校
実施日	令和8年2月

○「自己評価」及び「学校関係者評価委員会評価」の欄には、A～Dを記入してください。

評価 A:よくできている B:概ねできている C:あまりできていない D:できていない

○「自己評価についての評価の説明及び学校の考え」の欄には、理由及び自己評価の結果をどのように受け止めているかを記入ください。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
組織・運営	1	本校は、目指す学校像の実現に向け、組織的・計画的に取り組んでいる。	A	学校経営の方針説明は行われており、職員の声かけなどの雰囲気づくりは良い評価を受けている。一方で、職員会議の位置付けやルール遵守の明確化、行事等の振り返りの共有不足など、PDCAサイクルの改善が求められている。	A	校長は、目指す学校像に向けた経営方針を職員や保護者に説明し、学校全体として「桜中に来て良かったと思える学校づくり」が実現しつつあるように見える。授業では子供たちが落ち着いて学習に参加し、学校生活も楽しんでいる様子が見られる。一方で、経営方針に対する検証や振り返りがどのように行われ、改善に結びついているのかが分かりにくく、具体的な改善の取り組みが見えにくい。
	2	本校は、災害や事故等に対する組織的な体制を整えている。	A	学校では、安全点検や避難訓練、一斉下校訓練などが継続的に行われ、安全確保への取り組みは概ね充実している。また、ヘルメット指導やデジタル化された安全点検、危機意識を高める校長の呼びかけなども高く評価されている。一方で、ヘルメット着用の徹底、危機管理マニュアルの運用の明確化など、危機対応に関するいくつかの改善点が指摘されている。	A	桜中は高麗川沿いという立地から、震災だけでなく水害への備えも求められる厳しい環境にある。一方で、危機管理マニュアルの整備と共有、整理整頓された校内環境づくりが進んでおり、来校者からも清潔な学校環境として高く評価されている。課題として、ASDなど支援を必要とする生徒が災害時にパニックを起こした場合の対応や、そのための研修の実施状況が問われている。また、トイレの修繕については地域から早期改善を望む声も寄せられている。
	3	本校は、働き方の改善を推進している。	B	ノー残業デーや計画年休、ふれあいデーなどの退勤促進など、働きやすい環境づくりは一定程度進み、昨年度よりも退勤時間が早まっているという肯定的な意見が多い。一方で、土日の部活動や生徒指導関連の業務により時間外勤務の削減には大きな課題が残るとの指摘が多い。また、授業変更の難しさ、ふれあいデーの実効性不足、法律理解の欠如、勤務時間の意識改善の必要性など、制度と実態のズレに関する改善提案も複数挙げられている。	B	教員の働き方については、生徒の心のケアなど専門性の高い業務を担うことから、単純に時間を制限すべきではないとの意見があった。一方で、本校ではノー残業デーの実施や放課後の電話対応、部活動量の調整など働き方改善が進められており、教職員の熱心な姿勢には感謝の声が寄せられている。また、教員の健康や家庭生活にも配慮し、過度な負担にならない働き方を望む意見も示された。
教育課程・学習	4	本校は、主体的・対話的で深い学びのある授業づくりに取り組んでいる。(市重点項目)	B	授業では、主体的・対話的で深い学びを目指し、グループ学習や学び合いを活用した授業改善が進んでいるとの肯定的な評価が多く寄せられている。また、研究授業や研修の充実も評価されている。一方で、学力調査結果の低迷や基礎学力の不足、研究授業の負担、低学力層への支援不足など授業の「質」と「実態」のズレが課題として浮かび上がっている。	A	本校の教員は、学力調査結果の分析やICTの活用を通して、魅力的で意欲を引き出す授業づくりに取り組んでおり、その姿勢は高く評価されている。生徒がのびのびと学び、楽しさが感じられる授業が展開されている点も好意的に受け止められている。一方で、支援級や学習面に課題のある生徒がより興味を持てる授業の工夫、また授業研究会や相互参観の機会の充実が今後の課題として挙げられている。
	5	本校は、豊かな心を育む教育の充実を図っている。	B	本校では道徳授業の充実に向けた取組が継続して行われており、ローテーションによる授業実践や教材の工夫、授業見学の呼びかけなどが評価されている。一方で、生徒の挨拶・言葉遣いには学年や個人差が大きく、適切な言語表現が身につけていない生徒も多いとの指摘が複数あった。また、SSTの必要性など「計画と実践のギャップ」も課題として挙げられている。	B	子ども同士が学び合う授業は、コミュニケーション力の向上にもつながっており、互いを尊重し支え合う学級づくりが進んでいるとの評価があった。生徒のあいさつは概ね良好で、来校者が元気をもらえる雰囲気がある一方、言葉遣いに課題のある生徒もおり、家庭や地域と連携した指導が必要とされている。また、望ましい言動を育むため、道徳科における授業研究の充実が望まれている。
資質の向上	6	本校は、体罰や交通事故等の不祥事を根絶するための効果的な取組を実施している。(市重点項目)	C	校内研修や倫理確立委員会、不祥事防止チェックなど、コンプライアンス向上に向けた取り組みは定期的に行われており、組織としての仕組みは整っていると評価されている。一方で、職員間のコンプライアンス意識には差があり、職場の風通しや日常の言動に課題があるとの指摘も多い。制度面だけでなく、個々の意識改革やコミュニケーションの改善が必要とされている。	B	生徒と教員が自然に会話し笑顔で過ごす様子から、学校全体の温かな雰囲気を感じられるとの意見が寄せられた。一方で、時代や家庭環境、保護者の意識の変化を踏まえ、教職員間の情報共有や虐待防止、不祥事防止に関する研修の重要性は引き続き高いとされ、継続的な取り組みの必要性が指摘されている。
	7	本校は、不登校の未然防止や課題解決のための取組を実施している。(市重点項目)	A	不登校対応をはじめ、生徒一人ひとりに寄り添った丁寧な関わりが多くの職員から高く評価されている。また、生徒・保護者への優しい対応や誠実な姿勢、家庭連絡の丁寧さなど、「支援の質」が強みとして挙げられている。一方で、生徒が職員室に入りづらい雰囲気や、家庭対応が勤務時間外に偏りがちな実態など、運用面の改善が必要という指摘も見られる。	A	本校では、不登校生徒への家庭訪問を含め、生徒一人ひとりの状況に寄り添った丁寧な対応が行われており、教職員が温かい姿勢で生徒と関わっている点が高く評価されている。また、学校運営協議会を通して教職員の指導方針や姿勢への理解が深まり、保護者・地域から深い感謝の声が寄せられている。不登校への対応についても細やかな支援が行われていることが評価されている。
学習環境	8	本校は、特別支援教育の充実を図っている。(市重点項目)	A	特別支援教育に関しては、研修や通信の発行、学級間の連携、学校全体での理解促進など、多くの面で努力が積み重ねられており、教室環境や情報共有の体制が整っていると評価が多数寄せられている。特別支援学級の生徒への配慮や、支援チームとしての連携も高く評価されている。一方で、生徒のニーズの把握が十分でないという声や、地域への発信がまだ不十分であるという課題も指摘されている。	A	桜中の特別支援学級は、生徒一人ひとりに寄り添った温かい支援が行われており、保護者からの評価も高い。また、コーディネーターを中心とした就学支援も丁寧に実施されている。一方で、特別支援教育担当教員の精神的負担への学校全体の理解や支援体制が整っているかについて課題が指摘された。教職員の温かい関わりにより生徒が安心して過ごしていることへの感謝の声も多く、今後も現在の良好な教育環境を維持・発展させることが期待されている。
家庭・地域との連携	9	本校は、積極的に家庭・地域等と連携・協働している。	B	学校だよりやホームページなどを通して学校の様子を発信しており、校外学習では地域の方の協力も得られるなど、一定の地域連携は進んでいる。一方で、ホームページの更新頻度の差や、発信内容が保護者に十分届いているかどうかの不透明さ、地域人材の活用不足など、情報発信・地域連携の面で改善の余地があるとの意見も寄せられている。	A	本校は、学校運営協議会の充実や、ホームページ・学校だよりによる定期的な情報発信に努めている。一方で、学校応援団の理解促進や参加を促す発信をより積極的に行うこと、また地域の人材を活用した授業のさらなる充実が望まれている。地域の方々からは授業支援に関わる中で多くの学びがあるとの声も寄せられ、今後も地域とともに子どもを育てる取り組みを継続・発展させていくことが期待されている。
小中連携	10	本校は、小中連携を推進している。	B	小中連携については、多くの意見で「交流会や情報交換は行われている」と評価されている一方で、学習面の連携不足や校則・生活指導の違い、性教育の系統化、教科別の連携、合同部会の必要性など、より実質的な連携を求める声が多かった。また、小学校への継続的な訪問や、高学年への体験活動など、中一ギャップ軽減に向けた具体的なアイデアも複数寄せられている。	B	本校では、生徒が安心して学校生活を送れるよう、学校間での情報交換を行っている。今後は、小中連携をさらに深めることで挨拶や言葉遣いなど子供たちの基本的な生活習慣の改善が期待されるほか、中学生が進学する高校との連携も強化し、校則の変化などの最新情報を取り入れていくことが望まれている。